

「カナダでの経験」

遠軽高校 1年 千葉 亜月

私は今回カナダ派遣に参加し、非常に有意義で貴重な経験をすることができました。

日本とカナダでは異なる点がたくさんありました。特に、日本とカナダの学校では大きな違いがありました。私が通ったヒルトップハイスクールは、一日の授業数が4時間しかありません。しかし、1つの授業は1時間20分程度と長く、休み時間も4分程しかありません。カナダの学校は移動教室制なので、たった4分の休みで授業に遅れないのだろうかと思いましたが、ほとんどの人は、始業時間までに教室にいました。授業中はとても自由で、ほとんどの人がお菓子を食べたり、ジュースを飲みながら授業を受けていました。先生も、丸裸のバナナを食べながら授業をしていて、日本とは全然違って、授業中もとても自由だと感じました。ランチタイムは、多くの人が学校を出て近くのファストフード店へ行きお昼ご飯を買ったり、友だちの家でご飯を食べたりしていました。カナダでは、16歳から1人で運転することが可能で、私のホストの同級生のほとんどは車を運転していました。親が同乗していれば14歳から運転できると言っていたので、運転できる年齢の早さにとてもおどろきました。

カナダで面白いと思ったのは、1ドルショップに行った時のことです。ホストと一緒にいった町内の1ドルショップには様々なものがあり、日本の百均と似ていると思いました。おもちゃコーナーには、妖怪ウォッチの人形や、遊戯王などの日本のアニメのおもちゃが多く売っていて、日本のアニメの多くがカナダの人にも知られていることが分かりました。また、色々な日本のアーティストについても知っている人が多く、日本は海外の人にも結構知られていることが分かりました。また、カナダでは、店員さんに必ずと言っていい程、”How are you?”と聞かれ、“Good, and you?”などのように返すのですが”Excellent”といいながら踊り出すようなノリの良い店員さんがいて、とてもおもしろかったです。他にも、「その髪型いいね」「かわいいネイルだね」などと、店員さんが私たちに対してすごくフレンドリーで、お客さんも店員さんの言動に対し、どんな小さなことでも”Thank you”と必ず言っていました。コミュニケーションがすごく多くて、感謝のこぼれ”Thank you”をたくさん言うすごく素敵な国だと感じました。

日本とカナダとで大きな違いがあったのは、食文化だと思います。カナダは日本と違い、食事がワンプレートで済まされます。また、1つ1つの料理の量がとても多いです。私のホストも、レストランに行った時にはほとんど毎回料理を残していました。その残した料理を家に持って帰り、家で食べることに驚きました。ほとんどのレストランで持ち帰りことができました。また、カナダは朝ごはんがあっさりしています。昼食、夕食はとても量が多いですが、朝は、パンにソーセージ、ハッシュドポテト、フルーツのように、量が少ないです。朝食は日本の方が豪華だと感じました。おかしやスイーツはかなり甘く、馴染むことができませんでした。

私は「カナダで多くの人とコミュニケーションをとる」という目標のもと、行動しました。自分のホストはもちろん、学校で同じクラスの人や、他のホストの子たちとたくさん話しができたと思います。日本の話をしたり、一緒に漢字を書いたり、カナダの遊びを教えてもらって一緒に遊んだり、他愛もない話をしたことがとても楽しく、貴重な経験ができ、とても良い思い出を作ることができました。

私を受け入れてくれたホストファミリー、たくさん話してくれたクラスの友だち、カナダに出発するまで約3ヵ月間、事前研修でお世話になった方々、私がカナダに行くことを了承してくれた母親、父親に感謝の気持ちでいっぱいです。